

中心市街地の整備は

用途地域の見直しを検討する

問

第5次総合計画が23年度から始まりました。

中央地域は、J・R須恵中央駅周辺を商業地域と位置付け、住民の生活ニーズに対応した商業の振興に促進しますとあります。具体的な案はあるのでしょうか。

また、駅前の南側にコミュニティバス停留所がありますが、その進入口についての対応は。

答

吉松まちづくり課長

今後の駅周辺は、土地利用の制限も駅前広場廃止により多少緩和され、民間による商業地域としての適正な土地利用を期待するものですが、地権者と密接に連絡を取りながら、景観を損なわない有効活用を引き続きお願いしたいと思っております。

昨年、都市計画基礎調査が実施され、土地利用の現況、建物現況、都市施設、市街地整備の状況等に関する現況及び動向などのデータを分析し、駅周辺だけにこだわらず、商業振興へ誘導できそうな

地域を洗い出し、再度町内の用途地の見直しを検討したいと考えています。

コミュニティバス停留所付近の対応については、隣接している公園用地の利用計画と合わせて、道交法の法規制ができる町道に認定すべきか、関係各課と協議してまいります。



原野 敏彦 議員

節電対策は

今後検討を進めていく

問

平成23年3月11日に始まり、現在もなお続いている東日本における地震等の被害に伴い、全国的に節電が呼びかけられています。

当町においても、夏に向けて庁舎をはじめ各施設での実施に伴い、創意工夫が必要になります。

現在における実施内容や今後の計画について質問します。

答

中嶋町長

光ダクト・地熱交換については、対費用効果を考えると、新築の建物を建てる場合は検討することも可能と思いますが、既存の建物については今のところ不可能ではないかと思っております。

太陽光発電、風力発電については、原子力に変わる自然エネルギーとして国の政策が変われば、検討に値すると思います。



合屋 伸好 議員

LED電球への交換についても、対費用効果を考えると非



庁舎内に貼られている「節電シール」

省エネ対策については、いろいろな面で研究段階であり、今後検討を進めていきたいと考えています。

常に難しい問題がありますが、値段が安価になった時点で導入の推進をします。現時点では新たに設置する外灯や交換予定の防犯灯をLED電球で計画しています。



須恵中央駅前(コミュニティバス停留所)